

荒川第二・三調節池整備事業 「DXだより」

第2号 (2021.9)

編集・発行
荒川調節池工事事務所

3次元設計データを活用した 動画を公開！！

全力！建設DX
荒川第二・三調節池

荒川調節池工事事務所は、i-Constructionの取り組みをリードするモデル事務所として、測量・地質調査から設計、施工、維持管理まで、3次元設計データ（BIM/CIMデータ）の活用や新技術を導入し、建設生産管理システム全体の効率化に向けたDX(デジタル・トランスフォーメーション)を進めています。

その取り組みとして、今年5月より事業の3次元設計データを順次公開してきました。今回、3次元設計データを活用し、**事業の内容をよりリアルにお伝えできるよう、動画を作成し公開しましたので、是非ご覧ください！**

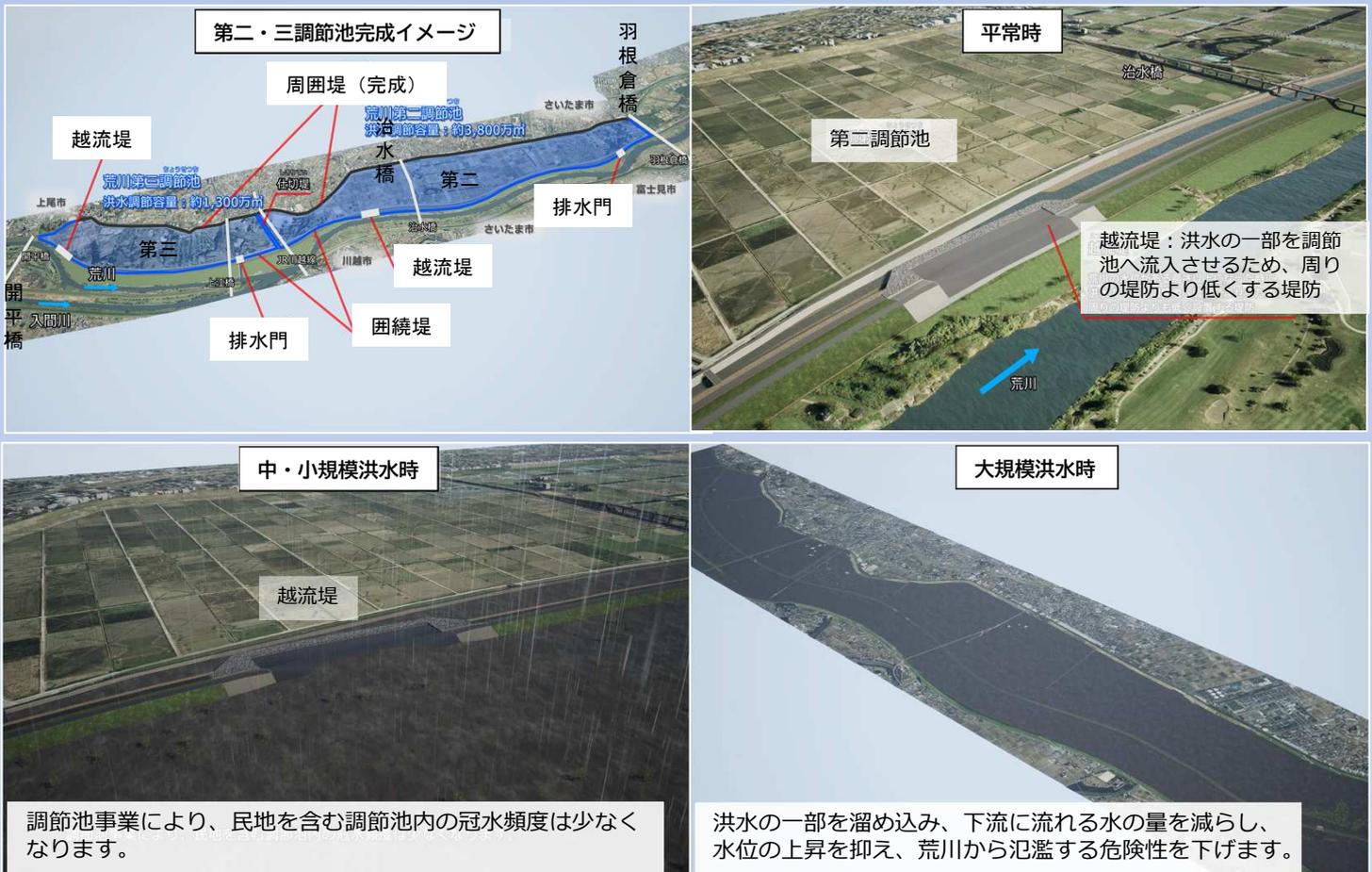
この動画は、従来の映像専用で作成されたCGではなく、**3次元設計データと一般的なゲームエンジン**を利用しています。

これにより、新たにCGを作成する必要がなくなり、**動画作成期間を約70%程度短縮**することができました。

今後も、3次元設計データを活用し、建設現場の生産性向上に取り組んでいきます。

※公開サイト：https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/torikumi/i_construction.htm
：<https://www.youtube.com/watch?v=U7cAT18oek>

動画イメージ【3次元設計データで見る荒川第二・三調節池事業】



デジタル技術（VR・AR機器を活用したシステム）を取り入れています！

当事務所では、デジタル技術（VR・AR機器を活用したシステム）も取り入れています。

事業について、VR（仮想現実）機器を活用して、3次元空間を360°あらゆる角度から映像が見られるようにしました。

また、AR（拡張現実）機器を活用し、3次元モデルを実際の空間上に重ねた映像を見ることもできます。

地方公共団体や建設関連業者等に3次元設計データの活用が盛んになるよう、DXを体験できる場として利用して貰いたいと思います。

体験を希望される方は当事務所までお問い合わせください。

※VR（仮想現実）：一般的にはVR専用ゴーグルを装着し、ゴーグルの中に設置された液晶モニターを見ることで仮想世界を体験します。360°カメラで撮影された映像コンテンツを再生すると、どこを見回しても仮想世界の景色が広がっているように見えます。

AR（拡張現実）：スマートフォンやタブレット端末などの機器を使って、CGを現実世界に映し出すことができる技術です。特定の被写体にスマートフォンのカメラをかざすとCGキャラクターが浮き出てくるアプリなどがあり、最近の例では「ポケモンGO」などがあげられます。



【お知らせ】

荒川第二・三調節池整備事業の建設DXの取り組みとして、「DXだより（第2号）」を発行しました。コロナ禍でなかなか皆さまに当事業についての情報発信が出来ない中、本誌において今後もできる限り発信していきたいと思っておりますので、荒川調節池ホームページよりご確認ください。

国土交通省関東地方整備局
荒川調節池工事事務所

〒338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島8-17-1
TEL.048-767-6041(代)

ホームページアドレス
<https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/>

守ろう暮らし 創ろう空間 ~荒川第二・三調節池~
荒川調節池工事事務所

